



別記（第8条第2項関係）

政務活動費収支報告書

会派

令和4年 4月 1日

杉戸町議会議長

あて

会派名 新是新
代表者名 原田寿々子

令和3年度政務活動費に係る収支報告について

杉戸町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第2項の規定により、別紙のとおり
令和3年度政務活動費収支報告書を提出します。

別紙

令和3年度政務活動費収支報告書

会派名 新是新

1 収入
政務活動費 290,000 円

2 支出

(単位：円)

科目	支出額	備考
調査研究費	0	
研修費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
広報費	162,888	会派誌印刷代、折込代
合計	162,888	

3 残額
127,112 円

注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

令和 3 年 7 月 8 日

杉戸町長 あて

会派名 新是新

代表者 仁部前 崇
(または、杉戸町議会議員)



令和 3 年度政務活動費精算報告書

令和 3 年 6 月 18 日に請求した杉戸町議会政務活動費について、下記のとおり精算報告します。

記

請求額	金 162,888 円
精算額	金 162,888 円
差し引き	金 0 円

領 収 証

No. 005527

杉戸町議会 会派 新是新 様

令和3年7月8日

¥ 162,888 -

税抜金額

消費税

但し 新是新レポート(令和3年年初夏号)11,200枚 新聞紙込代 輸送代
上記金額を正に領収いたしました。

中央プリント株式会社

代表取締役 仲 村



〒345-0024 埼玉県北葛飾郡杉戸町大字堤根3947-2
TEL 0480 (32) 0045
FAX 0480 (34) 3325



(ご注意
金額の訂正、代表者印の
ないものは無効です)

コロナワクチン接種情報

～6月議会において接種内容が下記のとおり決定しました～

一般会計補正予算第3号では、65歳以上のコロナワクチン接種希望者が7月中の2回接種を目指し、「カルスタすぎと」にて、「火・水・金」18時～21時の夜間接種をプラスする内容です。これにより、約80%の申込希望者の接種が7月中に完了します。



須田 恒男

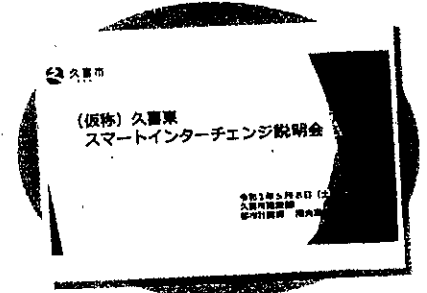
久喜駅～杉戸高野台駅間の道路完成は 令和12年開通を目指す!! (ハーフインター開通と同時)

古谷町長:久喜市長より要請があれば、前向きに検討

久喜市での取り組みは

吉羽地区の地元説明会【5月8日開催】

実施説明内容(要約).....区長・班長さん等参加



- ① 国とネクスコは、ハーフインターチェンジ設置に賛成であることから、久喜市は国の採択に向け、インターを利用する1日3,000台の車両通行確保に向けて条件整備の調査検討を進めている。
- ② 採択を受けると約30億円の事業費は、ほとんど国とネクスコが持つことになる。
- ③ インター開設に必要な条件として、1日3,000台利用が必要の為、周辺道路整備案の一つに、御成街道からの流入が必要として「久喜駅～杉戸高野台駅間」の道路建設が必要になる。
- ④ 久喜市におけるインター周辺整備計画案は、約26%の区画整理事業を進め、物流等の工業団地を予定している。(自主財源の確保、雇用の創出、駅周辺の活性化、交通の利便性)
- ⑤ 現在、圏央道は4車線化を目指し、工事期間は4年必要となる。
- ⑥ この工事完成後、約5～6年かけて大落古利根川に橋を建設、杉戸高野台駅までの道路整備へと繋がる。
- ⑦ 久喜市は、これらの完成予定を令和12年と見ている。

質疑の通り、約30億円のハーフインター整備事業費の国等からの交付をめざし、久喜市は採択を受けるべき調査・研究を精力的に進めている最中です。

圏央道4車線工事完了が4年間必要になることから「久喜駅～杉戸高野台駅間」の道路整備は、早々に取り組めない状況である事が明らかになりました。



仁部 前崇

国の「デジタル庁」創設に伴う町の今後の対応は。

質問要旨

5月12日参議院本会議で、デジタル庁の創設や個人情報保護法改正を盛り込んだ「デジタル改革関連法」が可決、成立しました。

今回の新型コロナウイルスへの対応においては、国、自治体のデジタル化の遅れや人材不足、不十分なシステム連携に伴う行政の非効率、煩雑な手続きや給付の遅れなど様々な課題が明らかになりました。

しかしながら、デジタル化が進んでいけばという思いも否めません。そこで当町の「デジタル課」の新設に対する考えを伺います。(答弁省略)



評価

今年度実施する令和4年度採用予定の職員募集にあたり、民間企業等で情報システムの企画・開発・運用等の職務経験がある人材の募集を行う予定であることを大いに評価するとともに素晴らしい人材が集まることを期待致します。

要望

私を含め昭和アナログ時代からの人間は、スマホ＝電話ですが、平成以降に生まれたデジタル時代の人間は情報端末機なのです。

既存の施設にWi-Fi環境を整備することは、全てがプラスになるとは限りません。

しかし、現在計画中の旧杉小跡地の開発において物議を交わしているコミュニティセンターや広場は、杉戸の顔、これからの時代の人への贈り物として、ぜひ当初からフリーのWi-Fi環境を整備していただきたい。

最後に

デジタル課の新設には、取り組む課題が多く存在していることは、理解いたしますが、現状でも進行しているIT化によるセキュリティの問題などに直接対応する課がないのが現状です。当町が、先進事例となり近隣をリードし、縦割り行政の非効率な部分を打破し、町民へのサービスがスムーズに提供できるよう早期の設置をお願いします。

「一般質問」の重要性

私たち議員は、年に4回町政に対して投げかける「一般質問」という権限が与えられています。唯一議事録に残る公的なものとしてしっかり勉強し提言すべき重要な責務です。ぜひ、杉戸町ホームページから町議会ページの会議録検索をのぞいていただけると幸いです。

実際の質疑答弁は必見です。
(議会日よりだけでは文字制限があるので実際のやりとりまではわかりにくいです。)



原田 壽々子

一般質問より

ただ単に下野久喜線の道路整備をすれば、町が活気づくと言って何度も繰り返し要望する方もおられますが、下野久喜線の道路整備には、筋道と論理が必要なはずだけど……

ただ作れば活気につながる？ わけがない!!



1. <西仮グラウンド利活用についての質問主旨>

高野台一帯はまだ人口が増えていた時代を取り戻せる！その要になるのは、3万㎡強の町所有財産「西仮グラウンド」の再開発です。重要な鍵、最後のチャンスとなることでしょう。失敗は許されない！取得価格と現在の土地評価額を鑑みて、しっかりとした構図を描かないといけないと考え、今回第1弾として質問をいたしました。今後も行動力を発揮し、筋道を立て全力で提言提案していく所存です。

行政がいつも漠然と掲げる『定性目標』ではなく『定量目標』を！

<質問抜粋>

- *用途地域制限とその変更について、権限はどこにあるのか。
- *簡単に認められない用途制限です。定量目標を立て、その根拠とその後の俯瞰的影響の考察を！
- *住民はこの土地の法規制等熟知している方ばかりではないので、意見を求めるならばわかりやすい法的資料の提示を！

2. <学校遊具や設備に対する点検についての質問>

*宮城県児童死亡事故を受けて、事故が起きてからでは遅い。多岐にわたる日常点検をすべて教師に委ねるのは、このコロナ禍において業務負担にならないか。民間専門業者による定期点検を2年に1回ではなく予算をかけて増やすべきでは？